

輸送 オランダの高頻度都市間運転

原題：Every second counts
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.175 No.1 (2019-1) pp.36-40

オランダのアムステルダムとエイントホーフエン間の10分間隔のインターシティの運転開始から1年がたち、定時性が高いこともあり多くの利用客を集めています。アムステルダムから1時間に6本の列車が発車しますが、うち2本はユトレヒトから別方向へ向かいます。これを補うため毎時2本のスキポール空港からの列車がエイントホーフエンに向かいます。乗客アンケートでは、このダイヤになってから満足度が6%上昇しました。また、乗車率は6%、定時性も5%向上しました。ダイヤを維持するため、運転士は先行列車の位置を表示するタブレットを携帯します。また車掌の一部に発車時刻の45秒前からカウントダウンを始めるスマートウォッチを貸与しています。



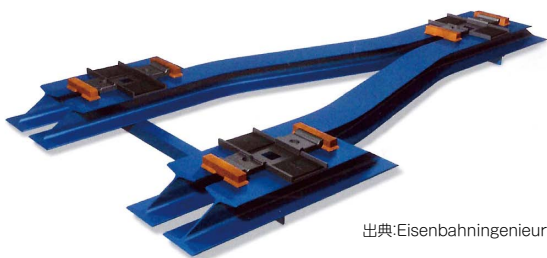
出典:Railway Gazette International

ユトレヒトを通る高頻度運転区間に用いられる2階建てのDDZ形車両

軌道 Y型鋼製まくらぎの機能と利点

原題：Herausforderungen bei der Gleissanierung von bestehenden Strecken
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.2018 No.12 (2018-12) pp.36-39

ここではチェコのマリエンバード～カルロビバリ間の22.5kmをY型鋼製まくらぎに更新するプロジェクトを紹介します。既存の国有鉄道網では、インフラ事業者であるSŽDCの木製、コンクリート製、鋼製のまくらぎを標準タイプとして使用しています。同国の鉄道には高い軌道安定性を必要とする急曲線軌道があります。ティッセンクルップ・シュルテ社のY型鋼製まくらぎは、15年以上にわたり理想的なデザインとして定着しています。安定性の持続可能性、とくにその耐用年数、リサイクル性、低メンテナンスコストに配慮が払われています。



出典:Eisenbahningenieur

Y型鋼製まくらぎ (締結装置やネジ類は省略)

輸送 イギリスで初めてのトラムトレインが開業

原題：Sheffield brings tram-train model to the UK
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.174 No.12 (2018-12) pp.44-45

2018年10月25日にイギリスのシェフィールドと郊外のロザラムを結ぶトラムトレインが開業しました。シェフィールドのスーパーtramは29kmの路線網でしたが、ティンズリーに160mの鉄道・軌道接続線を設け、運転区間を拡大しました。鉄道線の運転区間は接続点からロザラム・パークゲートまでです。元は非電化の貨物線でしたが、軌道区間と同じ直流750Vで電化しました。鉄道と軌道の直通運転のため、399系電車7編成を製作しました。車両は衝突時の耐久性を強化し、鉄道線用の運転保安装置や無線装置を搭載しています。25kV50Hz電化区間でも走行可能です。



出典:Railway Gazette International

大聖堂電停で並ぶシュタッドラー社製の399系トラムトレイン(右)とシェフィールドのスーパーtramの軌道線用車両

輸送 夜行列車には未来がある

原題：Die jüngste Renaissance des Nachtreisezugverkehrs hat begonnen
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.70 No.1 (2019-1) pp.37-41

ここでは夜行列車に関するÖBB (オーストリア連邦鉄道)の取り組みを紹介します。夜行列車の復活はドレスデン工科大学の調査結果とÖBBの運用により示されます。ヨーロッパの夜行列車鉄道網は、おもに主要鉄道の撤退により、1990年代半ばから次第に縮小しました。しかし、ÖBBは新しい製品やサービスコンセプトの導入により復活を目論みます。革新的な通信関連のビジ



出典:Eisenbahningenieur

ユーザー指向の新しい宿泊キャビンの概念であるNightjet 2022

ネスモデル・ソリューションや持続可能な車両への投資、トップレベルの経営陣の注目・ニーズが、夜行列車による旅行を持続的な成功に導く可能性を示します。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp